



NO. 13
平成29年度
川越市立
川越第一
中学校
学校通信部
責任編集

写真でたどる 一中の70年

今回は、卒業アルバムにあったかつての正門の写真です。本校の正門は今も当時も東側ですが、なぜ東側が正門なのでしょう。ちなみに近隣の川越総合も川越工業も正門は学



かつての一中正門

校の西側です。おそらく一中の東側の通りは喜多院や中院に面しており、南に進むと愛宕神社や仙波河岸があり、古くからある通りだったのでしょう。ですからメインストリートに面した方に正門を設置したのではないのでしょうか。正門の左右に広がる石垣は今も変わらぬ姿を見せています。

創立70周年記念式典

一中の歴史を振り返り、新たなスタートを

同窓会・親師会の御支援に感謝

11月25日(土)、午前中の土曜授業を終えて、午後から川越第一中学校創立70周年記念式典が行われました。本校は昭和22年4月1日に川越第一小学校の敷地内で開校し、今年度で71年目を迎えました。式典は前半が記念式典、後半はアトラクションの2部構成で、生徒には記念品として一中フアイルと一中飴がプレゼントされました。

1部の記念式典は、K教頭による開会の言葉、国歌斉唱、校歌合唱、T・S実行委員長、M・H親師会長、校長の挨拶に続き生徒会長のM・H君が生徒を代表して挨拶をしてくれました。M君の挨拶は、一中生は一中スタンダードを基に一中生として誇りを胸に生活していること、毎日の生活や行事への取組一つ一つが一中の歴史につながっていること、そして更なる一中の発展を目指す決意を伝える頼もしい



パネルディスカッション

内容でした。続いて来賓の同窓会長S・Hさんから祝辞をいただきました。また同窓会、親師会から記念品目録の贈呈がありました。◆第2部のアトラクションのスタートは、スライド「一中70年のあゆみ」の上映です。本校の歴史をスライドで回想していきました。第1回の卒業生の写真の中には、在校生の祖父の方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

あつたこともわかりました。◆続く催しは、各世代の卒業生によるパネルディスカッションです。パネラーは、50代を代表して元親師会長のT・Aさん、30代はT・Yさん、20代は1昨年度本校で教育実習をしたF・Yさん、そして10代は在校生を代表して前生徒会長のS・T君です。「川越一中の今までとこれから」をテーマに一中時代の懐かしいお話やこれから一中に期待することなどを話していただきました。◆最後は、



新たな正門通用門と一中飴



川越高校音楽部の合唱

川越高校音楽部の合唱です。32名の男声合唱が、本校の体育館に響き渡りました。演奏してくれた曲は、①川越第一中学校校歌②新しい歌③梅雨の晴れ間④恋(星野源作詞作曲)⑤宇宙戦艦ヤマト⑥信じるの5曲です。本校校歌は、この式典のために川越高校の音楽部員が4部合唱に編曲してくれました。「信じる」は3年生が合唱祭で選曲する定番の合唱曲です。男声合唱のすばらしいハーモニーは今後の本校の合唱に大変参考になりました。◆式典参加者を魅了する合唱を披露してくれた川高音楽部の皆さんに花束と大きな拍手が贈られ、創立70周年記念式典は幕を閉じました。



2年5組の授業(体育館で)

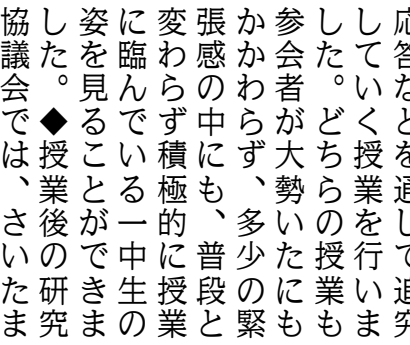
第35回関東ブロック中学校社会科教育研究大会が11月17日(金)午前中はウェスタ川越、午後は本校(歴史)、富士見中(公民)、城南中(地理)の3会場で行われました。当日は関東一円から全体で約四百名の参加者があり、一中には百五十名の教職員が来校しました。◆ウェスタ川越大ホールでは開会行事

と全体会があり、文部科学省F・A教科調査官の講演がありました。開会行事終了後、本校ではN・A教諭が1年1組で鎌倉時代に「武士はどのように支配を広げていったらうか」をテーマに、承久の乱の際の地元川越の御家人河越氏の立場を異なる立場に分け、グループや学級全体で意見交換を行い、鎌倉幕府の支配の広がりや生徒に多面的・多角的に捉えさせる授業を行いました。◆N・Y教諭は、2年5組で明治政府が行った教育改革の特色について、当時の川越の様子や人々の動きを伝える歴史資料を活用し、グループでの話し合いや意見交換、質疑

応答などを通して追究していく授業を行いました。どちらの授業も参加者が大勢いたにもかかわらず、多少の緊張感の中にも、普段と変わらぬ積極的な授業姿を見ることができました。◆授業後の研究協議会では、さいたま市教委O・T先生と「ブラタモリ」でタモリを案内した女子栄養大学M・T教授から指導講評をいただきました。本校の生徒の授業に臨む姿勢や資料等から追究する力や表現力の高さ、両教諭の授業の構成力、市立博物館との効果的な連携などについてお褒めの言葉をいただきました。◆この日のために尽力してくださった埼玉県中学校社会科研究会の皆様、川越市内小中学校の社会科担当の先生方に心から感謝します。

テーマは追究する力を育てる社会科教育

関東ブロック中学校社会科教育研究大会本校で開かれる



1年1組の授業